

第127号

6・7・8月号



幸区の社会福祉

社協は、住民の参加により福祉のまちづくりをすすめる民間組織です

この広報紙は共同募金の配分金で発行されています。

発行所 川崎市幸区社会福祉協議会
川崎市幸区戸手本町 1-11-5 川崎市さいわい健康福祉プラザ内
TEL:044-556-5500 FAX:044-556-5577 URL:http://www.saiwaiku-shakyo.jp/
発行人 市川勝一 編集人 市川勝一 印刷所 野崎印刷紙器株式会社



目次

1. 会長あいさつ
令和4年度 事業計画 重点目標 (要約)
令和4年度 予算
2. 第5期幸区社会福祉協議会
地域福祉活動計画策定
3. 令和4年度 賛助会員加入のお願い
令和3年度 賛助会費のご報告
赤い羽根共同募金と年末助け合い募金の配分先
4. 幸区社協ボランティアセンターからのお知らせ
ご寄附のお願い/寄附者報告



川崎市幸区社会福祉協議会
会長 加藤 満治

会長あいさつ

平素より、幸区社会福祉協議会の事業にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。さて、地域が抱える課題、住民の困りごとや心配ごとが多様化する中で、住み慣れた地域で安心して暮らしていける地域づくりのために、幸区社会福祉協議会は、地区社協や町内会・自治会、民児協や保護司会、施設、当事者団体やボランティア、関係諸団体、行

政と連携して活動してまいります。

昨年度、皆さまのご協力をいただき策定した「第5期地域福祉活動計画」は、3年計画の2年目に入りました。新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、当初の計画通りに進められていない部分もありますが、この状況でも「できることは何か」を共に考えて取り組んでまいりたいと存じます。

地域の皆さまにおかれましては、引き続き幸区社会福祉協議会へのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年度 事業計画 重点目標

①「第5期幸区地域福祉活動計画」に沿った事業の実施

3年間の計画期間（令和3年度から令和5年度）で策定した第5期地域福祉活動計画の目標・方針に沿って事業を実施します。

また、次期地域福祉活動計画の策定に向けた、市社協・区社協間での調整を行います。

②住民交流活動拠点の円滑な運営

区内3カ所の陽だまりの円滑な運営により、「誰もが顔見知りになれる」交流の場、地域の居場所づくりに取り組みます。

③福祉教育への取り組み強化

福祉を理解し、身近に感じることで地域福祉に目を向ける機会が増えるよう学校・地域・地元企業等と連携し、地域ぐるみの福祉を推進します。

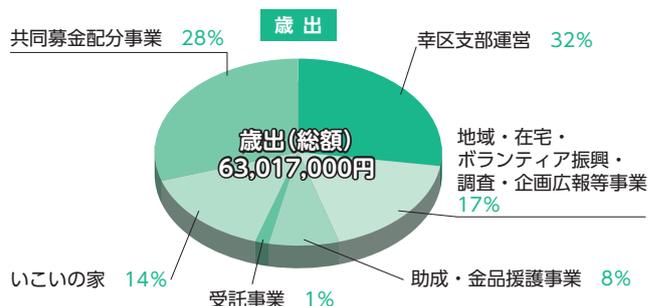
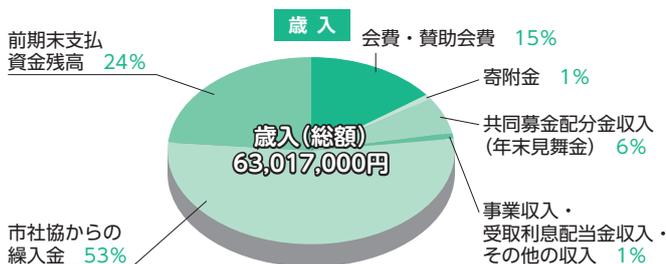
④総合相談事業の実施体制の整備

住民から寄せられる様々な相談をしっかりと受け止め、関係機関等と連携し解決につなげられる体制づくりに努めます。

⑤安定財源確保と啓発強化

住民に社協活動を理解してもらうための広報啓発活動に積極的に取り組み、賛助会費や寄附金等の自主財源確保に努めます。

令和4年度 予算



社協会員募集中

社協の組織は、福祉に関する施設・団体・機関・関係者から会員としてご参加いただく協議会です。会員種別ごとの会議で課題を協議し、事業に反映させ、誰もが安心して暮らせる「支え合いのまちづくり」を進めております。社協の活動資金の多くは、皆様からの募金や会費で支えられています。地域の助け合い活動、子どもや高齢者、障がいのある方、経済的にお困りの方への福祉活動に活用させていただいております。多くの方々に社協の会員としてご加入いただき、「地域の支え合い」にご参加いただきますようお願いいたします。

会員になると...

- 本会が発行する福祉情報を提供します。
- 活動のご相談、地域資源やボランティアをご紹介します。
- グループ・団体等活動への助成金申請が可能です。
- ボランティアコーナーのロッカー利用（無料）が可能です。
- 区社協が発行する広報紙、ホームページへの活動紹介の掲載等、広報に協力します。
- 当会の会員種別ごとの会議のご案内をします。



会員になるには...

- 幸区内で社会福祉事業や活動を行っている施設・団体・グループ等が対象です。
 - 手続きは、所定の入会申込書を本会に提出していただき、常任委員会の承認を得て会員となります。
- なお、施設については、市社協・区社協双方への入会をお願いしています。

会費は...

- 年度会費の納入をお願いいたします。
- 会員の種別（施設は定員数等）によって会費は異なります（2,000円～）。

問合せ 幸区社会福祉協議会 地域課 ☎044-556-5500

令和4年度賛助会員加入のお願い

社会福祉協議会の様々な活動は、地域の皆様によって支えられており、中でも賛助会費は大変貴重な財源です。

賛助会費はより身近な地域での福祉活動の財源として、地域に配分されています。

今年度も、地域で支えあう福祉のまちづくりのためにご協力をお願いいたします。

ご案内につきましては、各地区社会福祉協議会を通じて加入のお願いをさせていただきます。ぜひご加入下さい。

賛助会費とは？

賛助会員からの会費を賛助会費といいます。

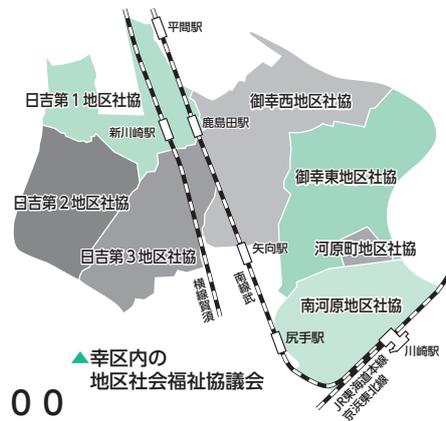
- 個人……………1口 1,000円
 - 団体・法人……………1口 5,000円
- ※何口でもお申込みいただけます

募集期間 令和4年7月～令和5年2月

※各地区社会福祉協議会を通じて、改めてご案内いたします。

問合せ

お住いの地区社会福祉協議会役員、または幸区社会福祉協議会の窓口
幸区社会福祉協議会 地域課 ☎044-556-5500



令和3年度賛助会費のご報告

ご協力いただいた賛助会費はお住まいの地区社会福祉協議会に8割、区社会福祉協議会に2割配分させていただきました。

令和3年度の実績額 7,268,500円



地区社協の取り組み

御幸西 地区社協

御幸西地区社会福祉協議会は、府中街道（国道409号線）を挟んで、多摩川から南武線に向かって広がる、下平間、塚越、東古市場、古市場、古川町、新塚越からなるエリアです。

コロナ禍で開催できなかったふれあい会食会「味菜の会」が1月より再開しました。

感染対策を徹底し、工夫しながら実施しています。

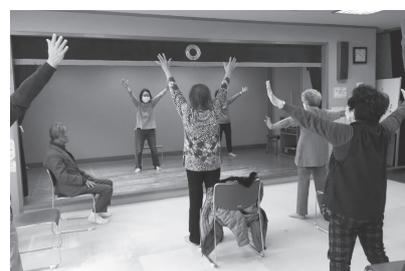


コロナ前の「味菜の会」の様子。



コロナ禍での「味菜の会」の様子。

密を避けるため1回の参加人数を少なくし、お弁当の持ち帰りにしました。



日吉第三 地区社協

日吉第三地区社会福祉協議会は、新鶴見操車場跡地を挟み、線路に沿って、大型マンションが建設されている小倉、新小倉、東小倉のエリアです。

コロナ禍でも工夫を凝らして、会食会などの活動を継続しています。



コロナ前の「ふれあい会食会」にぎやかに会食していました。



コロナ禍でのふれあい会食会。お弁当持ち帰りに変更しました。



令和3年度「幼児クリスマス会」加藤会長と佐野副会長がサンタクロースに扮しました。



「デイ・陽だまりっこ」平成31年4月の様子。



社協会員紹介

セルフきたかせ

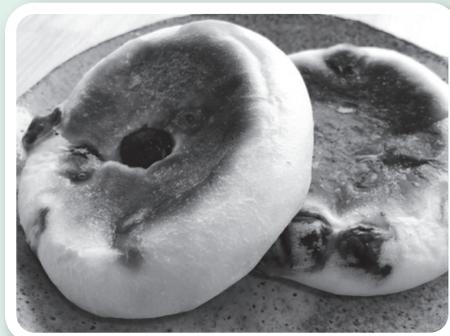
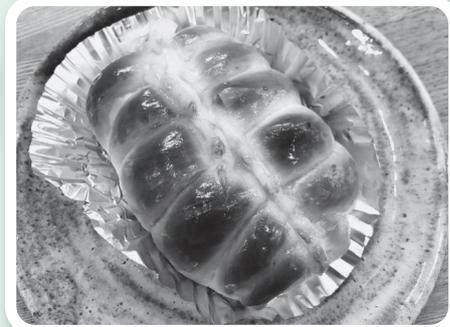
かふえ あんてろーぷ

人気 NO.1 商品の「ちくわパン」！ちくわの中にツナマヨが入ってボリューム満点です。菓子パンでは、ブルーベリー・クランベリークリームチーズは相性抜群の組み合わせでとても人気です。一つ一つ心を込めて作った手作りパンをたくさんご用意しています。

開所時間 10:30~16:00

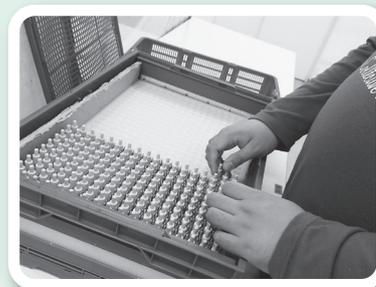
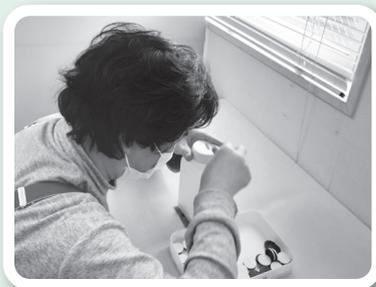
住所 幸区北加瀬1-31-5 セルフきたかせ内

電話 044-580-3080



障害者福祉サービス事業所「どりーむ」

今年どりーむは開設34年目を迎えます。20人という小規模施設で、作業や公園清掃、息抜きの外出など行っています。お仕事は、ボールペンや磁石の組み立て、チラシ入れや袋詰めなどの仕事を受注し、それぞれ得意分野で個々人が活躍しています。軽作業等ありましたらご相談ください。



開所時間 9:00~15:30 (17:30まで職員在勤)

住所 幸区南加瀬3-4-7

電話 044-599-6854

自主製作品をご紹介します

みゆき作業所

みゆき作業所で作製している花たわしや和紙製品、ちりめん根付などの手芸品です。

一つひとつ丁寧に作製しており、人気のある商品です。プレゼントや景品などにもお使いいただいています。

1コ100円から。詳しくは、みゆき作業所までお問い合わせください。

開所時間 平日 9:00~17:00

住所 幸区古市場1808-1

電話 044-511-5001



パセオやがみ

矢上川沿いの静かな散歩道に面して建つパセオやがみでは、一番人気商品のプリンと美味しいクッキー、一点物のバッグ・アクセサリー等をみんなで作っています。

気になる商品がございましたら、是非お問い合わせをお待ちしております。

開所時間 9:00~16:00

住所 幸区矢上4-3

電話 044-599-0888



河原町の陽だまり ▶ 看板リニューアルのお知らせ

幸区社会福祉協議会では、乳幼児から高齢者まで世代を超えた誰もが利用できる地域の住民交流活動拠点として、小倉・塚越・河原町の3カ所で「陽だまり」を運営しています。

そのうちの河原町の陽だまりでは、幸区役所の取組の1つ「高校生の特技を活かした地域活動」として、川崎総合科学高校の学生による看板リニューアルが行われました。今後、河原町の陽だまりの広報活動でも活用していく予定です。



河原町の陽だまり

ぜひ
お立ち寄り
ください。

美味しい
コーヒー（100円）
もあります。

利用時間

月～金
10:00～15:00

住所

幸区河原町1
河原町団地2号館1階

問合せ 幸区社会福祉協議会 地域課 ☎044-556-5500

ボランティア交流会を開催しました

3月12日、さいわい健康福祉プラザにて令和3年度ボランティア交流会を開催しました。長引く新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での開催は約3年ぶりとなりました。

交流会ではボランティアグループ「だれでもカフェ」「幸の会」の皆様にご協力いただき、久々に顔をあわせ楽しい時間を過ごすことができました。参加者同士、コロナ禍での活動について近況報告を行い、気をつけていること、楽しかったこと、これから活動したいこと等、様々な情報交換を行いました。



チャレンジボランティア2022

夏休みに地域のボランティア活動に参加しませんか？

夏休み福祉・チャレンジボランティア体験学習「チャレボラ2022」を開催します。
みんなのボランティア、思いやりが集まると、安心して暮らせる街が実現できます。

幸区での体験希望者は7月23日(土)に開催されるオリエンテーションに参加し、以下のプログラムから選択できます。また8月20日(土)には、活動を振り返るまとめの会があります。(自由参加)

<幸区のプログラム一覧>

- ①地域子育て支援センターさいわいのお手伝い&乳幼児と交流
- ②地域子育て支援センターおぐらのお手伝い&乳幼児と交流
- ③幸こども文化センターで子どもたちと交流しよう
- ④公園で遊び場づくりのお手伝い&子どもたちと交流しよう
- ⑤わくわくプラザで子どもたちと交流しよう
- ⑥こぶし園(障害者施設)で利用者さんとの交流(楽器を使った音楽プログラム)
- ⑦老人福祉センターで交流しよう(スマホ講座のお手伝い)



その他、川崎市内各区の幅広い分野のプログラムから選択できます。(選択プログラムごとに日程・定員・対象あり)

申込・詳細につきましては、川崎市社会福祉協議会ボランティア活動振興センターまで。

申込締切 6月19日(日) ☎044-739-8718



ホームページ <http://www.csw-kawasaki.or.jp/>

赤い羽根共同募金と年末たすけあい募金の配分先

令和3年度共同募金運動では、神奈川県全体で1,088,852,599円の募金実績をあげることができました。

神奈川県共同募金会では3月に配分委員会を開き、県下の社会福祉施設・団体等への配分額を決定しました。このうち、幸区内の施設・団体等への配分は次のとおりです。



募金種別	施設・団体名	配分内容	配分額
赤い羽根	(福)長尾福祉会 セルプきたかせ	事業活動用車両購入事業	760,000円
	(特)マイライフ・えいこうホーム	居室用エアコン交換工事	200,000円
	(特)家事介護ワーカーズ・コレクションメモディー	在宅福祉サービスの実施に係る事業費	300,000円
	幸ワーカーズ・コレクションあやとり	在宅福祉サービスの実施に係る事業費	300,000円
	らら・むーぶ幸	在宅福祉サービスの実施に係る事業費	100,000円
	川崎市幸区社会福祉協議会	地域福祉事業費	5,447,330円
年末たすけあい	川崎市幸区社会福祉協議会	年末慰問金配分・地域福祉事業費	8,800,687円
配分額合計			15,908,017円

川崎市高齢者フリーパスが変わります

高齢者特別乗車証明書と高齢者フリーパス、福祉パスは10月からICカードに切り替わります。現在お手持ちの高齢者フリーパス有効期間についてはICカードに引き継ぐことが可能ですが、手続きが遅れた場合に備え、紙券は短期間での購入をオススメしています。

切り替え手続きなどの詳細については、7月下旬に川崎市が発送する通知書にてお知らせします。



『高齢者フリーパスとは?』

川崎市では、満70歳以上の方に、社会参加の支援を目的として、市内を運行する路線バスに優待乗車できる「高齢者特別乗車証明書」を交付しています。フリーパス販売窓口にて、この「**高齢者特別乗車証明書**」を提示し申込することで、高齢者フリーパスを購入することができます。

高齢者フリーパスは、有効期間中何度でもバスに乗車することができます。(定期券とは異なります) 1か月に10回以上バスに乗られる方(乗車・降車の両方、もしくはどちらか一方が川崎市内の場合)は、フリーパス購入がオススメです。

期間	料金
1か月パス	1,000円
3か月パス	3,000円
6か月パス	6,000円
12か月パス	12,000円
※福祉パス	無料

※障害者手帳等をお持ちの方やその介護者は、福祉パスの交付を受けることができます。詳しくはお問合せください。

問合せ 川崎市高齢者外出支援乗車事業専用コールセンター ☎0570-090-222 (平日8:30~17:15)

ご寄附のお願い

幸区社会福祉協議会では、地域福祉推進の(誰もが住み慣れた地域で、安心して生活できる地域をつくる)ための事業を行う財源として、皆様からの温かい善意のご寄附をお待ちしております。ご寄附いただくメリットとして、機関紙への寄附者名の掲載、税法上の優遇措置があります。

幸区社会福祉協議会への寄附の方法

- 幸区社会福祉協議会の窓口やお電話でご寄附についてお申し出ください。
- 寄附申込書をお渡しますので、氏名・住所・電話番号・広報紙への掲載の可否等をご記入の上、ご提出ください。
(幸区社会福祉協議会の広報紙へ、寄附者名を掲載させていただいております。掲載不可とご記入いただいた場合は「匿名」とのみ掲載させていただきます。)
- 寄附金受領後、寄附者へ受領書(社会福祉法人川崎市社会福祉協議会会長名)を交付いたします。交付された受領書は、寄附金の優遇措置の手続き等の際に必要なになりますので、大切に保管してください。



幸区社会福祉協議会への寄附金の優遇措置

- ◆**個人の場合**…確定申告によって、寄附金額を所得税法(第78条)の規定により、寄附金控除を受けられます。
- ◆**法人の場合**…確定申告によって、寄附金額を法人税法(第37条)の規定により、損金算入することができます。

※詳細については、管轄の税務署などにお問合せください。

寄附者報告

令和4年2月1日~令和4年4月30日

■寄附金 ■寄託品

とりかえるこれいるか 伊藤 均
さんばあ食堂

令和4・5年度 幸区社会福祉協議会 機関紙編集委員名簿

委員長	市川 勝一		副委員長	小野 喜博
委員	和田 かよ子	島田 和子	海野恵美子	
	河田 照芳	伊藤 博之	石井 永良	
	北野 正司	市川 きみ子	叶 千代子	
	森 幸枝	雲走 和孝		